

平成 28 年度 第 1 回京北第二小学校学校評価の結果と分析

本校教育活動をより充実するために、今年度 1 回目、前期の学校生活について、児童・保護者・教職員のアンケートを実施しました。お忙しい中、保護者の皆様にはご協力いただき誠にありがとうございました。

■学校評価の目的

- 学校教育目標・めざす子ども像の達成に向けての学校教育の取組について、学校評価を通して、成果と課題を明らかにし、よりよい学校への改善を図る。
- 保護者・地域の方に、育てたい「子ども像」や課題を知っていただき、子ども達への教育を共に進めていく。
- 児童も前期の生活を振り返り、よりよい学習や生活ができるようにする。

■結果と分析

家庭生活 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない、数字は%)

質問項目	保護者				児童				教職員			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
①子どもには、家庭での学習の習慣を身につけさせていますか。	34	51	15	0	62	31	7	0	29	71	0	0
②子どもには挨拶をするなど基本的な生活のマナーを守らせていますか。	44	49	5	2	71	27	0	2	30	50	20	0
③子どもには早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけさせていますか。	39	44	17	0	42	53	4	1	50	50	0	0
④子どもは言葉遣いや人を大切にすることなどの社会生活のルールを守ることができますか。	37	56	5	2	51	45	4	0	30	70	0	0
⑤子どもには学校への提出物などをきちんと出させていますか。	39	54	7	0	64	29	5	2	12	88	0	0
⑥子どもにはテレビゲーム・携帯電話等の時間や約束を守らせていますか。	46	27	22	5	64	24	6	0				
⑦子どもには家での役割を持たせていますか。	34	39	27	0	38	42	18	2				
⑧家庭で学校のことを話すなど、子どもと対話やふれあいの時間をもっていますか。	56	37	7	0	53	36	7	4				
⑨テレビゲーム・携帯電話の時間や約束については A そう思う (以下 A) ・ B 大体そう思う (以下 B) が合わせて保護者は 70% に対し児童は 90% 近くになっており、保護者の方が守らせていませんという意識が強いようです。ただ、約束そのものをつくれていない場合やテレビゲームや携帯電話を持っていないという場合もあります。学校においては情報教育の取組の中で、携帯電話やメール、SNS 等についても学んでいきます。こうしたことをご家庭とも共有していきたいと考えています。												
⑩家庭での役割については、保護者、児童ともに C あまりそう思っていない (以下 C) ・ D そう思わない (以下 D) の割合が他の質問項目よりも多いです。ただ、とりわけ役割を決めずに家庭での仕事をしている児童も多いと思います。道徳や家庭科の学習において家庭での役割を果たすことに価値付けしていきたいです。												
⑪早寝・早起き・朝ご飯については児童が C ・ D 合わせて 5 % などに対し、保護者は 17 % となっています。生活点検の結果からも概ね早寝・早起き・朝ご飯は達成できています。児童の学校での様子も、1 時間目から集中して学習に取り組む姿が見られます。こうしたことは、各家庭で声かけ等をしていただき、しっかりと基本的な												

- 保護者は 70% に対し児童は 90% 近くになっており、保護者の方が守らせていませんという意識が強いようです。ただ、約束そのものをつくれていない場合やテレビゲームや携帯電話を持っていないという場合もあります。学校においては情報教育の取組の中で、携帯電話やメール、SNS 等についても学んでいきます。こうしたことをご家庭とも共有していきたいと考えています。
- ⑪家庭での役割については、保護者、児童ともに C あまりそう思っていない (以下 C) ・ D そう思わない (以下 D) の割合が他の質問項目よりも多いです。ただ、とりわけ役割を決めずに家庭での仕事をしている児童も多いと思います。道徳や家庭科の学習において家庭での役割を果たすことに価値付けしていきたいです。
- ⑫早寝・早起き・朝ご飯については児童が C ・ D 合わせて 5 % などに対し、保護者は 17 % となっています。生活点検の結果からも概ね早寝・早起き・朝ご飯は達成できています。児童の学校での様子も、1 時間目から集中して学習に取り組む姿が見られます。こうしたことは、各家庭で声かけ等をしていただき、しっかりと基本的な

生活習慣を身につけて頂いているからと考えています。

⑬家庭での学習の習慣については、C が児童は 7 % のに対し、保護者は 15 % となっています。そして、児童、保護者とも D は 0 % です。おそらく、習慣が身についているとなると、自主的に (保護者の声かけの前に) 家庭学習に取り組んでいることが必要であると判断されたのではないかと思います。そうであるとすれば、家庭での学習の習慣をつけさそうと日々取り組んで頂いていることが伺えます。学校では家庭学習の内容を工夫し、授業等につながるようなものにするなどの工夫をしていきます。

学校生活 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない、数字は%)

質問項目	保護者				児童				教職員			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
①子どもは学校生活を楽しく送っていますか。	64	29	7	0	55	44	1	0	82	18	0	0
②子どもには友達を大切にし合う関係は育っていますか。	59	39	2	0	49	47	2	2	55	45	0	0
③子どもに思いやりの心やいじめを許さない心は育っていますか。	61	34	5	0	55	42	0	3	45	55	0	0
④学校は授業や行事を通して、健康教育や保健教育に積極的に取り組んでいますか。	51	46	3	0	51	42	7	0	78	22	0	0

どの質問項目においても A ・ B 合わせて 90% 以上あります。ただ、少数ではありますが、保護者にも児童にも C ・ D の回答があり、見過ごすことはできないと感じています。保護者と連絡を取り合う、児童の様子をしっかりと見る、必要であれば話を聞くなど、丁寧な個別の対応をしていきたいと考えています。

学習 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない、数字は%)

質問項目	保護者				児童				教職員			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校は、工夫をして分かりやすい授業を行なうなど、学力の充実、向上に積極的に取り組んでいますか。	44	41	10	5	65	33	2	0	37	63	0	0
②子どもは意欲的に学習に取り組み、授業の内容を理解していると思いますか。	31	49	15	5	47	42	11	0	12	88	0	0
③子どもは、授業などでクラスや仲間に自分の考えを表現・発表することができていますか。	39	49	12	0	35	56	9	0	22	78	0	0
④子どもは課題についてあきらめずに粘り強く取り組めていますか。	29	51	20	0	51	43	5	1	33	67	0	0
⑤「全校一人百冊読書」に取り組んでいます。子どもは本をよく読んでいますか。	23	41	29	7	51	38	11	0	22	78	0	0

⑥読書については、児童、教職員が A ・ B の合計が 90% 近く、またそれ以上であるのに対して、保護者は 64 % となっています。昨年度も 1 人 100 冊読書を目標に設定し、学校で取り組みました。その結果、全児童が目標を達成することができました。ただ、読書は本来楽しみの 1 つであります。家庭で児童が楽しみの 1 つとして進んで読書するようになってほしいです。そのためには、読むことの楽しさを味わうことができる授業を開催するとともに、多様な種類の本をそろえ、学校図書館の充実にもさらに取り組んでいきたいです。

⑦粘り強く取り組めているかについては、保護者において C が 20 % となっています。ところが、児童、教職員は A ・ B 合わせて 90% 以上です。学校では、児童がめあてに向けて、がんばり続ける姿が多く見られ、本校の校

風にもなっているように思います。そうした頑張りの様子を保護者に伝えていき、教職員と保護者が同じように褒めることで児童は自分の行動に自信をもつことができると考えています。

②授業の内容理解については、保護者が C・D 合わせて 20%，児童が 11%となっています。また、①分かりやすい授業を行うために工夫しているにおいても、保護者は C・D 合わせて 15%となっています。学校ではよりよい授業を行うために互いの授業を見合っての研修を行う等の取組を進めています。児童が自ら考え、互いの考え方について話し合い、より深く内容を理解する、そんな授業を行っていきます。そうすることで、児童が授業内容をより理解するだけでなく、その定着も図られるものと考えています。

学校運営 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない、数字は%)

質問項目	保護者				児童				教職員			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校行事は子どもの力を育てるものになっていますか。	52	41	7	0	65	33	0	2	91	9	0	0
②学校は、保護者や地域の方に教育目標やめざす児童像を分かりやすく伝えていますか。	39	47	12	2					40	60	0	0
③学校は、学校便りや学級通信、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていますか。	54	34	7	5					60	40	0	0

①学校行事については、保護者、児童、教職員ともに児童の力を育てるものになっている A・B が 90%以上となっています。行事の成功に向けて、真面目に粘り強く取り組む児童の姿を保護者と教職員が共有し、児童に励ましや賞賛の声をかけることで、よりよい教育が行われると考えています。

②教育目標やめざす児童像については、保護者において C・D が 14%になっています。年度当初の学校便りだけでなく、行事や各学級での取組をお伝えするときに教育目標やめざす児童像とのつながりについて説明していきたいです。

③学級便りやホームページについては、保護者が A・B 合わせて 88%になっています。ただ、自由記述欄にホームページの内容に学年でばらつきがあるという意見を頂いております。教職員の中で今一度情報を発信することの意義と留意点について共通理解していきます。

学校・保護者・地域との連携 (A そう思う・B 大体そう思う・C あまりそう思わない・D そう思わない、数字は%)

質問項目	保護者				児童				教職員			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校・担任は保護者の相談に丁寧に対応していますか。	44	51	0	5	33	55	9	3	50	50	0	0
②子どもは、地域の行事やイベントに参加していますか。	61	37	2	0	55	33	11	1	100	0	0	0
③学校・家庭・地域が協力して子ども達の安全や健全育成に努めていますか。	58	37	5	0					73	27	0	0

①相談への丁寧な対応については、A・B の合計が保護者で 95%，児童で 88%となっています。ただ、保護者で D が 5 パーセント、児童で C・D の合計が 12%になっていて、この結果も見過ごすことができないです。保護者の願いや児童のおもいをしっかりと聞いて理解することを改めて大切にしていきます。その上で、取組について説明し、協力して教育活動を進めていきたいです。

保護者アンケート自由記述欄より（抜粋）

- 先生の叱るときの口調がきついので気をつけてほしい。
- 雷などによる下校対策はその条件に対応できるようにしてほしい。
- 以前に比べ、家庭で学校の話をすることが減ったように感じる。我が子の態度から学校に対するモチベーションの低さを感じる。
- クラスの様子もあまり伝わってこない。学級懇談会もレジュメもなく、一方的に話を聞いて終わるので工夫してほしい。
- 「児童像」という言葉に違和感がある。それぞれ子どもらしく個性豊かに「そのまま」育ってほしいと願う。
- 中間休みや授業の合間に子ども達のやることが決まりすぎて忙しそう。それを少人数の良さと言うのか、私は子どもへの負担が大きい気がする。もう少し自由に遊べる時間、放ったらかしの時間があつてもよいのではと思う。
- 読書感想文の「ひな型」があったのには驚きました。一律に同じ「感想の持ち方」を促しているよう。子ども達の自由な発想や想像力を伸ばすことにつながらないように思いました。宿題も多いなあと思うときもしばしば。全くないときがあっても良いのではないかでしょうか。これから日暮れも早くなるので、外で遊べる時間も限られてくるので、「早めに宿題を終えて、外で遊ぶ」が難しくなります。学校でたくさん勉強してくれているので（先生のおかげです）家ではたっぷり遊んでもらいたいと思います。昔の子ども達と比べて外遊び（虫取ったりなど）する時間が少ないように思え、子ども達が気の毒に思います。
- 朝マラソンをなくしてほしいと思います。
- 京北の小学校の行事がかさなると参加できづらい（職場の方も休まれる為）日がずらせるなら対応してもらえるとありがたい。
- 学年によってホームページや学級便りの内容に差があるように思います。どのような考えなのでしょうか。
- 毎日楽しく学校生活を過ごさせて頂いて感謝しております。年齢的に自分の意見を持つようになりましたが、先生のご指導で他の人の意見の理解が進み、それが互いを思いやる心につながっているように思います。
- いつも丁寧に目を向けて教えて頂いています。娘は二小が大好きです。
- 子どもによるかと思いますが、学校内の様子が分かりにくく（子どもがあまり話さないので）このアンケートも答えづらかったです。
- 心身共に健やかに成長していると日々感謝している。
- 担任の先生により活動や取組内容の差がとても大きいように感じます。それぞれ先生の特色を生かすのは良いことですが、学校全体としてもう少し先生方のまとまりをもって頂けたらいいなと感じます。

学校評議員会より

- 親がいらなくなった携帯電話を子どもに持たせている場合もある。今は幼児も持っている。使い方について正しく教えるのは難しいことであるが、取り組んでいかないといけない。
- 学習に対する児童のがんばりや担任の個別対応についても保護者に伝えて行くべきだと思う。
- 朝マラソンについては、苦手な子の気持ちをくみ取って行っていく必要があると思う。朝の陸上教室や朝マラソンでの児童の頑張りや健康面への影響などを保護者にもっと伝えていくといいと思う。
- 非常時の登下校については、様々なことを想定しておくことが大切であるが、その場での臨機応変な対応も必要になってくる。学校の想定される対応を保護者にも伝えて、理解し協力してもらえるようにすることがとても大切であると思う。